

特選スイーツ・「壺屋のいちご大福」

今や和菓子一つのジャンルとして地位が確立しているフルーツ大福ですが、その元祖はい

3月11日(月)12日(火)13日(水)

ちご大福と言われています。今回は地元の横須賀市から、北久里浜駅前の商店街にある壺屋のいちご大福が特選スイーツに登場です。壺屋は創業70年の和菓子司で創業当初はさくらの里もある衣笠にお店があったそうです。どら焼きやお団子など常連さんに人気の定番メニューが多く、いちご大福は季節限定商品で特に人気が高いのですぐに売り切れてしまうこともあるそうです。こし餡を求肥で包んでほんのりいちごの色が見えてかわいらしく、どこから食べてもいちごが味わえそうです。いちご大福自体を始めて召し上がる方もいらっしゃり、まずはあんこが美味しいと、そしていちごの甘



酸っぱさがちょうどよく合うと感嘆の声を上げていました。もともとお店をご存じの方や、近くのお店ならまた食べられるねと店名をメモする方もいらっしゃり、デイサービスと地域との関わりと言う点からも今後も定期的に地元のお店を利用させていただきたいと考えています。

無印良品バウムクーヘン味比べ

3月8日(金)9日(土)



雑貨などオリジナルブランドを幅広く手掛ける無印良品のスイーツ「不揃いバウム」約40種類の中から人気上位のバナナ・チョコレート・宇治抹茶を味比べしました。バウムクーヘンと言うと結婚式の引き出物や手土産として知られていて輪の形になっているのが一般的ですが、不揃いバウムは製造の過程で処分してきた生地端や形が基準に満たないものを価格を抑えて販売したことから始まり、棒状で食べやすく人気定番商品となっています。バウムクーヘンの名前の由来や記念日、無印良品につ

いてクイズ形式で楽しく学んでから試食です。どれも美味しくて選びきれなかったようですが1日目はバナナバウム、2日目は抹茶が人気と順位が変わり、甘さの強めなバナナとすっきりした甘さの抹茶で好みが分かれたようです。おやつにも丁度いい量で、楽しい食べ比べとなりました。



3年ぶりにカラオケ再開！

コロナ禍で休止していたカラオケを久しぶりに再開しました。歌うことが大好きなお客様が多いのでやっとまたデイサービスで歌っていただくことができ、職員も嬉しく思います。マスク着用とマイクの除菌を行ったうえで、午後のたのしいひとときを過ごしていただいています。

